

開封日 年 月 日

500mL

殺菌消毒剤

フェノール水「ニッコー」

Phenolated Water「NIKKO」

日本薬局方

フェノール水

発売元

丸石製薬株式会社
大阪市鶴見区今津中2-4-2

製造販売元

日興製薬株式会社
岐阜県羽島市江吉良町1593

500mL

フェノール水「ニッコー」

| | |
|----------------|---------------|
| 2015年5月改訂(第2版) | |
| 日本標準商品分類番号 | 872619・877322 |
| 承認番号 | 16100AMZ01316 |
| 薬価収載 | 1986年3月 |
| 販売開始 | 1991年7月 |
| 再評価結果 | 1982年8月 |

貯法: 室温保存

使用期限: 3年(表示の使用期限を参照すること。)

●禁忌(次の部位には使用しないこと)

損傷皮膚及び粘膜
[吸収され中毒症状を起こすおそれがある。]

●組成・性状

- 組成
本品100mL中 日局液状フェノール2.2mL 含有。
- 性状
無色澄明の液で、フェノールのにおいがある。

●効能・効果 ●用法・用量

| 効能・効果 | 用法・用量(本品希釈倍数) |
|--------------------------------------|--------------------------------|
| 手指・皮膚の消毒 | フェノールとして1.5~2%溶液を用いる。(そのまま用いる) |
| 医療機器、手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒 | フェノールとして2%溶液を用いる。(そのまま用いる) |
| 下記疾患の鎮痒 痒疹(小児ストロフルスを含む)、じん麻疹、虫さされ | フェノールとして1~2%溶液を用いる。(1~2倍) |

●薬効薬理

本剤は、使用濃度においてグラム陽性菌、グラム陰性菌、結核菌には有効であるが、芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)及び大部分のウイルスに対する効果は期待できない。

●使用上の注意

1. 重要な基本的注意

- (1)眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
- (2)本剤を希釈する場合は、濃度に注意して使用すること。
- (3)炎症又は易刺激性の部位に使用する場合には、濃度に注意して正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

その他の副作用

過敏症: 発疹等(頻度不明)の過敏症状があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること。

3. 適用上の注意

(1) 人体

投与経路: 外用にのみ使用すること。

使用時:

ア. 密封包帯、ギプス包帯、バックに使用すると刺激症状及び吸収され、中毒症状があらわれるおそれがあるので、使用しないこと。

イ. 長期間又は広範囲に使用しないこと。

[吸収され、中毒症状を起こすおそれがある。]
ウ. 誤飲を避けるため、保管及び取扱いには十分注意すること。

(2) その他

ア. 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合は、腐蝕を防止するために0.5~1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。

イ. 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。

〈調剤包装単位用コード〉



(01)04987211250522

〈販売包装単位用コード〉



(01)14987211150522

製造番号

使用期限

殺菌消毒剤

フェノール水「ニッコー」

Phenolated Water「NIKKO」

日本薬局方

フェノール水

500mL

発売元

丸石製薬株式会社
大阪市鶴見区今津中2-4-2

製造販売元

日興製薬株式会社
岐阜県羽島市江吉良町1593

フェノール水「ニッコー」

500mL

| | |
|----------------|---------------|
| 2009年7月作成(第1版) | |
| 日本標準商品分類番号 | 872619-877322 |
| 承認番号 | 16100AMZ01316 |
| 薬価収載 | 1986年3月 |
| 販売開始 | 1991年7月 |
| 再評価結果 | 1982年8月 |

貯法：室温保存

使用期限：3年(表示の使用期限を参照すること。)

●禁忌(次の部位には使用しないこと)

損傷皮膚及び粘膜
[吸収され中毒症状を起こすおそれがある。]

●組成・性状

1.組成

本品100mL中 日局液状フェノール2.2mL 含有。

2.性状

無色透明の液で、フェノールのにおいがある。

●効能・効果 ●用法・用量

| 効能・効果 | 用法・用量(本品希釈倍数) |
|--------------------------------------|--------------------------------|
| 手指・皮膚の消毒 | フェノールとして1.5~2%溶液を用いる。(そのまま用いる) |
| 医療機器、手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒 | フェノールとして2%溶液を用いる。(そのまま用いる) |
| 下記疾患の鎮痒 痒疹(小児ストロフルスを含む)、じん麻疹、虫さされ | フェノールとして1~2%溶液を用いる。(1~2倍) |

●薬効薬理

本剤は、使用濃度においてグラム陽性菌、グラム陰性菌、結核菌には有効であるが、芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)及び大部分のウイルスに対する効果は期待できない。

●使用上の注意

1.重要な基本的注意

- (1)眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
- (2)本剤を希釈する場合は、濃度に注意して使用すること。
- (3)炎症または易刺激性の部位に使用する場合には、濃度に注意して正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。

2.副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

その他の副作用

過敏症：発疹等(頻度不明)の過敏症状があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること。

3.適用上の注意

(1)人体

投与経路：外用にのみ使用すること。

使用時：

ア.密封包帯、ギプス包帯、パックに使用すると刺激症状及び吸収され、中毒症状があらわれるおそれがあるので、使用しないこと。

イ.長期間または広範囲に使用しないこと。
[吸収され、中毒症状を起こすおそれがある。]

ウ.誤飲を避けるため、保管及び取扱いには十分注意すること。

(2)その他

ア.金属器具を長時間浸漬する必要がある場合は、腐蝕を防止するために0.5~1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。

イ.合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。

GS1-RSS



4 987211 150525

JAN



製造番号

使用期限